

イスラーム金融のグローバル化と各国の対応

調査研究報告書

「イスラーム金融のグローバル化と各国の対応」研究会

2009年3月

独立行政法人日本貿易振興機構
アジア経済研究所

イスラーム金融のグローバル化と各国の対応

調査研究報告書

「イスラーム金融のグローバル化と各国の対応」研究会

2009年3月

独立行政法人日本貿易振興機構
アジア経済研究所

調査研究報告書

地域研究センター 2008 - -07
イスラーム金融のグローバル化と各国の対応

調査研究報告書
地域研究センター 2008 - -07
イスラーム金融のグローバル化と各国の対応

2009年3月30日発行

発行所 独立行政法人日本貿易振興機構

アジア経済研究所

〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉 3-2-2

電話 043-299-9500

無断複写・複製・転載などを禁じます。

はしがき

本調査研究報告書は、平成 20 年度（2008 年度）にアジア経済研究所で実施した「イスラーム金融のグローバル化と各国の対応」研究会（2008-IV-07）の成果である。

イスラーム金融は、1970 年代に中東で本格的なイスラーム銀行が設立されて以来、イスラームの理念・イスラーム法に基づく金融システムとして発展・拡大してきた。中東やアジア諸国をはじめ多くの国でイスラーム銀行が設立され、その後、イスラーム金融は、投資信託や株式投資の分野、さらには、イスラーム保険やイスラーム債券（スクーク）など多様な金融分野に広がってきている。現在では、湾岸地域やマレーシアなどでは、イスラーム金融が経済で重要な役割を果たすようになっており、ヨーロッパなどでもイスラーム金融機関が増加しつつある。イスラーム諸国の発展とともに始まったイスラーム金融は、イスラーム諸国の枠を超えて広がりつつあり、また、金融商品の品揃えの幅を広げ、量的にも拡大している。

イスラーム金融は、イスラームの理念に沿い、利子を排除して金融活動を行うことを特徴としている。預金や融資ではムダーラバ、ムシャーラカ、ムラーバハ、イジャールなどの独特な方法を用い、利益を確保しつつ金融活動を行っている。銀行などでは、シャリーア・ボードなどの制度を作り、その活動がイスラームに適合しているかどうかを常に検証しながら金融業務を行っている。このようにイスラーム金融機関は、その業務内容や組織に特徴を持ち、わが国でも大きな関心を呼んでいる。

研究会では、イスラーム金融が経済で大きな役割を担うようになっている中東、東南アジア、南アジア諸国を中心にし、非イスラーム諸国も対象に加え、そこでの事例を検討しながら研究を進めてきた。研究会には外部の研究者も参加し、銀行実務の経験や、イスラーム研究の視点、さらには、パキスタンやロシアにおける現地の視点も加えつつ研究を行った。

本研究会は 2 年間の研究会として計画された。本冊子は研究会の中間報告として 1 年目の成果を取りまとめたものである。成果の公表を通し、忌憚のないご批評をいただき、2 年目の研究をさらに発展させていきたい。

2009 年 3 月
編者

目次

第1章	イスラーム銀行の発展と政治・経済的環境	
	ドバイとサウジアラビア	1
第2章	GCC 諸国イスラーム金融機関の資金調達と投資行動	29
第3章	イランの銀行制度とイスラーム金融	51
第4章	パキスタンにおける金融機関のイスラーム化	
	とイスラーム金融の発達	67
第5章	マレーシアのイスラーム金融	91
第6章	インドネシアのイスラーム金融制度の整備・拡充の動向	109
第7章	金融先進国のイスラーム金融	129
第8章	金融機関のリクイディティ・マネジメント手法からみた	
	イスラーム金融の多様性とグローバル化	
	イスラーム金融論における「西厳東緩論」再考のために	153
[参考資料]	ISLAMIC FINANCE IN the FORMER SOVIET UNION	179

執筆者一覧（執筆順）

福田安志	（アジア経済研究所図書館長）
齋藤 純	（アジア経済研究所地域研究センター）
鈴木均	（アジア経済研究所新領域研究センター 国際関係・紛争研究グループ長代理）
Mehboob ul Hassan	（京都大学イスラム地域研究センター研究委員）
中川利香	（アジア経済研究所新領域研究センター）
濱田美紀	（アジア経済研究所開発研究センター）
吉田悦章	（国際協力銀行国際業務戦略部調査役）
長岡慎介	（京都大学大学院アジア ・アフリカ地域研究研究科・博士課程）
Renat Bekkin	（Professor of the Moscow State Institute of International Relations）